産業廃棄物の排出及び処理状況等（2020 年度実績）について

The Knights

環境省は 2020 年度における産業廃棄物の排出及び処理状況等についての調査結果を取りまとめました。

調査対象は 47 都道府県、対象業種は「日本標準産業分類（2013 年 10 月改定）／総務省」及び「日本標準産業分類（2007 年 11 月改定）／総務省」を基に抽出した、産業廃棄物の排出が想定される大分類 18 業種。集計は、都道府県から環境省に報告されたデータを基にし、調査年度や未調査業種等について産業活動指標を用いて補正してあります。

産業廃棄物の排出・処理状況（2020 年度実績）

(1) 全国の産業廃棄物の総排出量:前年度に比べ、約 1,200 万トン（約 3.1%）減少

2020 年度総排出量　37,382 万トン（前年度　38,596 万トン）

(2) 業種別排出量:上位業種は前年度と同様、上位 5 業種で総排出量の 8 割以上

	排出業種	排出量（万トン）	排出割合（%）	前年度排出量（万トン）【排出割合（%）】
1	電気・ガス・熱供給・水道業	9,932	26.6	10,101【26.2%】
2	農業・林業	8,237	22.0	8,126【21.1%】
3	建設業	7,821	20.9	7,971【20.7%】
4	パルプ・紙・紙加工品製造業	3,063	8.2	3,368【8.7%】
5	鉄鋼業	2,118	5.7	2,596【6.7%】

(3) 種類別排出量:前年度と同様、上位 3 品目で総排出量の 8 割以上

	廃棄物の種類	排出量（万トン）	排出割合（%）	前年度排出量（万トン）【排出割合（%）】
1	汚泥	16,365	43.8	17,084【44.3%】
2	動物のふん尿	8,186	21.9	8,079【20.9%】
3	がれき類	5,971	16.0	5,893【15.3%】

(4) 産業廃棄物の処理状況:前年度に比べ、最終処分量が約 7 万トン（約 0.7%）減少

	処理区分	処理量（万トン）	処理割合（%）	前年度処理量（万トン）【処理割合（%）】
1	再生利用量	19,902	53.2	20,357【52.7%】
2	減量化量	16,571	44.3	17,323【44.9%】
3	最終処分量	909	2.4	916【2.4%】

当社では、産業廃棄物の分析を行っております。お気軽にお問い合わせください。

資料　2023 年 3 月 30 日付　環境省報道発表資料

無機分析箇所　井手口静恵

The Knights of Environmental Science
内藤環境管理株式会社
〒336-0015 さいたま市南区大字太田窪 2051-2
TEL.0120-01-2590　FAX.048-886-2817
URL：www.knights.co.jp

PFOS、PFOA とは？

有機フッ素化合物で撥水、撥油性があり、難分解性で安定しているため、コーティング剤や界面活性剤などとして様々な製品に使用されてきました。しかし、その安定性から環境中の残留性や生体中の蓄積性が問題視され、国内外で規制の動きがあります。

お問合せはこちら